

Ⅱ 平成 30 年度の特筆すべき取組／令和元年度の計画

【平成 30 年度実績】

1. 全学的な教育用情報基盤の整備と全学に向けての提供

No.01 ①-1 現代的課題に挑戦する基盤となる先端的・創造的な高度教養教育の確立・展開
No.45 ②-3 異文化の理解と実践的なコミュニケーション能力の養成

実績報告

情報教育システム(ICL)、CALL システム、東北大学インターネットスクール(ISTU)を始めとする 10 以上の教育系情報システムについて、長時間の停止等を伴うトラブル無しに、安定的な運用とサービスの提供を行った。特にこの年度に限った取り組みでは無いものの、当センターの基本的な使命と考えるため、ここに記載した。

加えて、単に運用・サポートのみならず、教育系情報サービスのオンラインガイド(日英)の充実とコンテンツのスマートフォン対応(レスポンス)化、各サービスの使い方や著作権等に関する利用者講習会や利用相談会の開催、部局等への出前講習会の開催等、利用の拡大にも努めた。また、平成 30 年 6 月からは、授業等の連絡用メールを提供するサービス(メール「私書箱」POBox)、平成 31 年 4 月からは高速なシラバス全文検索サービス(QuickSyllabus)を開始するなど、教育系情報サービスの充実化にも取り組んでいる。

2. 「デジタルキャンパス・プロジェクト第2版」の策定

No.01 ①-1 現代的課題に挑戦する基盤となる先端的・創造的な高度教養教育の確立・展開

実績報告

今後のより実効性のある教育情報化を展開するため、平成 29 年 11 月に本センター教育情報基盤戦略会議の下に教育情報化推進検討部会を設け、ISTU の利活用を中心に検討を行なった。また、平成 30 年 1 月に、全部局および本部事務機構の部・課を対象とした「教育用情報サービスに係るアンケート調査」を実施し、同部会での検討の基礎資料とした。この部会の報告を受け、本センターが推進してきた教育情報化の活動(「デジタルキャンパス・プロジェクト」)の第2版を策定し、平成 30 年 12 月の本センター運営委員会です承後、学務審議会(平成 31 年 2 月)、および部局長連絡会議(平成 31 年 3 月)等で公表した。この「デジタルキャンパス・プロジェクト第2版」では、第3期中期から第4期中期に向け、関係部局、学務審議会等と協働しての本センターの取り組みとして、ISTU を中心としたシステムの機能拡充、クラウド型統合アプリ等の教育利活用、ICT を活用したユーザーサポートの高度化、および広義の情報リテラシー教育の充実を主要な柱として掲げている。

3. センターの教育・研究機能の強化

No.01 ①-1 現代的課題に挑戦する基盤となる先端的・創造的な高度教養教育の確立・展開

実績報告

当センターは4つの業務部門によって構成されており、教員はそれぞれの部門に配置されているが、加えて、情報科学研究科および教育情報学教育部に協力講座として参画する形で、研究・教育活動に携わってきた。平成30年度からの教育情報学教育部の教育学研究科への統合に伴って、この教育・研究体制の見直しを行い、教育データ資産の分析と活用、データ・リテラシー教育の開発と実施、次世代型のデジタル学習環境の研究等、これからのリテラシー教育と教育情報化に求められる分野についての強化をはかるべく、本センターの教員2名(教授および准教授)が、情報科学研究科情報基礎科学専攻に新設されたデータ基礎情報学講座に参画した(H31年4月より)。同講座の教員は、ICTを活用したブレンド型学習用教材の開発、および学習データの分析と活用についての研究実績を上げている。

4. 学部向けサイバーセキュリティ教育の充実化

No.01 ①-1 現代的課題に挑戦する基盤となる先端的・創造的な高度教養教育の確立・展開

実績報告

全ての学部学生を対象として、全学教育「情報基礎」の一部として、平成30年度よりサイバーセキュリティ教育を開始している。授業担当教員へのアンケート等を通じて、教材や実施方法についての課題の収集を行うと共に、センター情報教育部門と同部門の特任教授(IBM 客員)を中心とし、学務審議会情報基礎委員会とも連携しつつ、一層の内容の充実に努めている。

5. 全学的な教育展開の検討と実施準備

No.01 ①-1 現代的課題に挑戦する基盤となる先端的・創造的な高度教養教育の確立・展開

実績報告

本センターの教員は東北大学ビジョン 2030 の策定において教育分野を中心として参画するとともに、その具体的な実現形態である「挑創カレッジ」や数理・データ科学・AI 教育プログラムの充実化に向けて、学務審議会および関係する委員会において委員を務め、その実施に向けて中心となって取り組んでいる。